



作成日 2010年10月15日
改定日 2018年 7月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	ウベ小波スレートn, ウベ大波スレートn, ウベ役物スレートn (GHS)
製品コード	CE-F03-1001
供給者の会社名称	宇部興産建材株式会社
住所	東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
電話番号	03-5419-6206
FAX番号	03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

通常の保管および取り扱いの条件においては安定していますが、切断加工等で生じる粉じんには、以下の危険有害性が報告されています。
(なお、切断加工などを行わない据付け・組込み作業並びに施工後の使用時など、粉じんの発生がない場合、危険性はありません)

GHS分類(混合物)

物理化学的危険性	可燃性固体 区分外
健康有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓 免疫系) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H315 切断加工などで生じる粉じんによる皮膚刺激
H318 切断加工などで生じる粉じんによる重篤な眼の損傷
H341 切断加工などで生じる粉じんによる遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 切断加工などで生じる粉じんによる発がんのおそれ
H371 切断加工などで生じる粉じんによる呼吸器系の障害のおそれ
H373 切断加工などで生じる粉じんによる長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害のおそれ

注意書き 予防策

使用前に、この安全データシートの全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないで下さい。

切断加工などで生じる粉じんの眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面)を着用して下さい。
切断加工などで生じる粉じんのばく露を避けるため、呼吸用保護具や局所排気装置・集塵装置を使用して下さい。

対応

粉じんを吸入しないで下さい。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗って下さい。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗って下さい。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。

保管

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けて下さい。

保管の際は水濡れ厳禁とし、常温恒室の平坦な場所に平積み保管して下さい。

廃棄 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
繊維強化セメント板

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
結晶質シリカ	1%以下	SiO ₂	(1)-548	公表	14808-60-7
水酸化カルシウム	2.5%以下	Ca(OH) ₂	(1)-181	公表	1305-62-0
ポルトランドセメント	—	不明	—	—	65997-15-1
有機繊維	—	不明	—	—	—

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
ポルトランドセメント(法令指定番号:545の2)
結晶質シリカ(法令指定番号:165の2)
水酸化カルシウム(法令指定番号:317)

4. 応急措置

粉じんを吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けて下さい。

粉じんが皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗って下さい。

粉じんが眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けて下さい。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。
直ちに医師に連絡して下さい。

粉じんを飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けて下さい。
口をすすいで下さい。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けて下さい。

5. 火災時の措置

不燃性のため、火災時の処置は特にありません。

6. 漏出時の措置

固体(板状)のため漏出はありませんが、本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、容器や袋等に詰めて一般産業廃棄物と同様に扱って下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

使用前に、この安全データシートの全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。
切断・研磨・穴あけなどの加工を行う場合は、粉じんが発生するおそれがありますので、次の点に注意して下さい。

技術的対策

切断加工などで生じる粉じんの目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面)を着用して下さい。
切断加工などで生じる粉じんのばく露を避けるため、呼吸用保護具や局所排気装置・集じん装置を使用して下さい。

安全取扱注意事項

粉じんを吸引しないで下さい。

衛生対策

取扱い後は、うがい及び手洗いを励行して下さい。

保管上の注意

保管の際は水濡れ厳禁とし、常温常湿の平坦な所に平積み保管して下さい。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
結晶質シリカ(石英)	0.025mg/m3	吸入性粉塵:0.03 mg/m3	TWA:0.025 mg/m3(R)
水酸化カルシウム	未設定	未設定	TWA 5mg/m3
ポルトランドセメント	未設定	【第2種粉塵】吸入性粉塵:1 mg/m3、総粉塵:4 mg/m3	TWA:1 mg/m3(E, R)

保護具

呼吸器の保護具

切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用して下さい。
防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもよいが、必ず国家検定合格品を使用して下さい。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行って下さい。

手の保護具

保護手袋を着用して下さい。

眼の保護具

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用して下さい。

皮膚及び身体の保護具

長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚を露出しないで下さい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

形状

固体(板状)

色

灰色

臭い

無臭

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

爆発性無し

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(密度)

約1.5g/cm3

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配

データなし

係数

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の保管および取り扱いの条件においては安定。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

危険有害な分解生成物 データなし

11. 有害性情報

通常の保管および取り扱いの条件においては安定していますが、切断加工等で生じる粉じんには、混合物の化学物質から以下の有害性が報告されています。

結晶質シリカ(石英)として
生殖細胞変異原性

In vivoでは、遺伝子突然変異試験で陽性、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である。また、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。

発がん性

IARC:グループ 1、日本産業衛生学会:第1群、NTP:K に分類されていることより、区分1Aとした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトにおいて、呼吸器、自己免疫疾患、腎臓への影響が確認されている。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。

水酸化カルシウムとして

急性毒性(経口)

ラットLD50=7340mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

中程度の刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

ヒト: moderate, severe, corrosiveな刺激性
ウサギ: corrosive

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの報告がある。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトの肺を冒すことがあるとの記述がある。

ポルトランドセメントとして

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を示すことより区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

皮膚腐食性であることより区分1とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

気道刺激性があるとの報告(ACGIH (7th, 2010))より、区分3(気道刺激性)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

吸入経路では、ヒトにおいて良性の塵肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある(ACGIH (7th, 2010)、DFGOT vol. 11 (1998))ことから区分1(呼吸器)とした。実験動物についての有用な情報はない。

12. 環境影響情報
情報なし

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄する場合は、周辺環境に粉じんが飛散しないように注意して下さい。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理して下さい。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託して下さい。

14. 輸送上の注意
国際規制
海上規制情報

該当しない

Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk	Not applicable
according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	
航空規制情報	該当しない
国内規制	
陸上規制	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78	非該当
附属書II及びIBCコード	
によるばら積み輸送	
される液体物質	
航空規制情報	該当しない
特別の安全対策	転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行って下さい。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
海洋汚染防止法	有害でない物質(施行令別表第1の2)
	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
粉じん障害防止規則	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業(粉じん則別表1の6号)

注)本製品は労働安全衛生法 表示、通知対象物を含むが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

16. その他の情報

記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の手取扱いを対象としたものですので、特別な手取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
----------	--